

第1回

此花区多職種連携研修会・交流会
～保健師さんを囲む会～

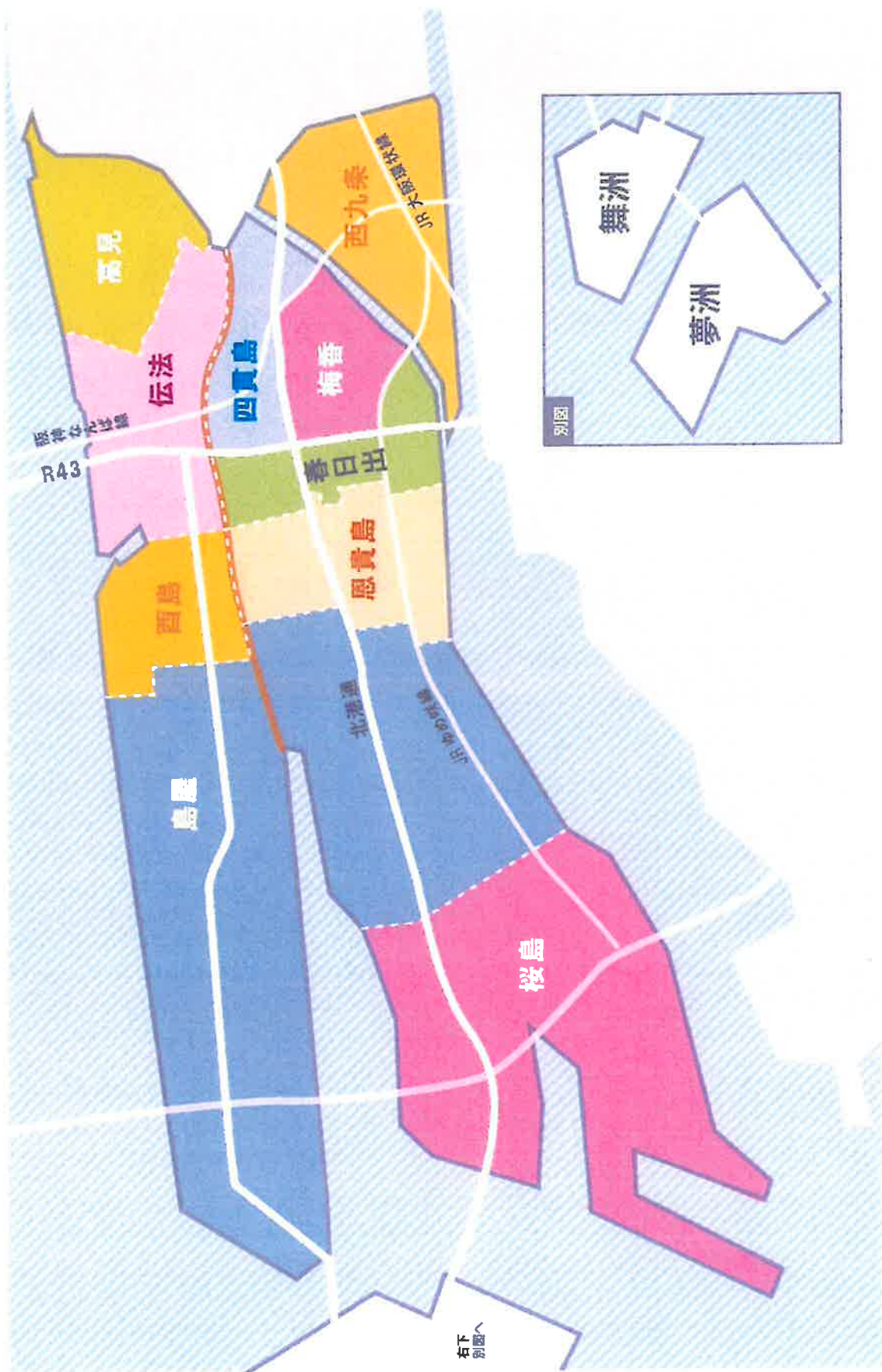
令和7年4月24日（木）

此花区健康ぴちぴちランド

此花区役所・此花区医師会

w i t h

此花区居宅介護支援事業者連絡会



第 1 回此花区多職種連携研修会・交流会～保健師さんを囲む会～次第

令和 7 年 4 月 2 4 日 (木) 午後 2 時～
於・此花区役所 3 階講堂 A B C

1. 開会 司会・進行 田 中 忠 徳 (此花区医師会顧問)

2. 挨拶 板 東 博 志 此花区医師会長

3. 連絡・報告

○此花区健康ぴちぴちランドについて

4. 説明・自己紹介・感想

○保健師さんについて

資料：厚生労働省保健師活動領域調査結果概況・「大阪市職員(保健師)勤務案内」

○此花区の保健師さんの活動について(自己紹介含む)

○他職種からの感想について

(平田慶司此花区居宅介護支援事業者連絡会長・中井美香子此花区薬剤師会長)

5. 交流(名刺交換)

6. 連絡・その他

7. 閉会 大 江 理 恵 此花区訪問看護ステーション連絡会長

※別添参考資料：リーフレット「ACP」(此花区役所)、同「此花区どこそこガイド」(此花区医師会)

此花区健康ぴちぴちランドについて

☆趣旨：＜健康介護相談所兼集いの場＞

本ランドは、健康や介護のことなどの相談の「場所」(ランド)で、広く区民の健康増進と生活維持・向上に寄与することを目指します。また、その意思決定を支援する「場所」(ランド)でもあります(ACPの実践)。加えて、専門職が相談員となって集い、ある時は懇談をし、ある時は情報共有をし、そして、他職種を理解する「場所」(ランド)ともなります。その上で、今後色々な企画を織り交ぜて、イベントの主催も行いつつ、本ランドを運営していきたいと思います。余裕をもって、「ゆるり」と行きましょう！

○相談の特徴：

- ・全国で「まちの保健室」が作られた10年前の「学校に保健室があるように、地域にも気軽に行ける相談ができる所や居場所があるといいね」というモットーを踏襲します。
- ・地域(地区)の限定はありません。相談は無料で、予約もあります。

○相談の対象者：

- ・此花区民・此花区内在勤者(広く相談等の受付) ＜登録カードの作成？＞

○相談員：出務協力は自由に

- ・地域の看護師、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士はじめ専門職

○場所・形態等： α ＝拠点場所(定位置)開催、 β ＝出張開催

- ・拠点場所開催⇒ α ：此花区民一休ホール会議室
- ・出張開催⇒ β ：此花区内の各地(スーパー等を含む)

○イベント主催：多職種の連携強化と拡大を！

○連絡・報告：共催者間の広報

- ・「健康ぴちぴちランド通信」の発行(不定期)

○その他(色々な演出)：

- ・和やかな(カフェの)雰囲気の出出(音楽を流す、ドリンクを提供するなど)
- ・他のイベントとのジョイントなど



認知症予防のための歌声喫茶3

此花区健康ぴちぴちランドβ(血管年齢測定会)

主催：此花区医師会、此花区健康ぴちぴちランド

「認知症予防」においては、近年、趣味や生きがいを持つことも重要とされるようになってきました。特に、歌を歌う、歌を聴くなどの音楽関連の趣味は、「認知症予防」にも有効と言われています。

第1部では、地域の認知症支援活動や保健活動の案内をします。その後、第2部で、「認知症予防」の観点から、昭和の「歌声喫茶」の雰囲気再現しつつ、ピアノ伴奏に合わせて、参加者みなで、懐かしい昭和、平成に流行った歌謡曲などを朗らかに歌っていきます。

日時：**5月30日(金)14:00～15:30**＜定員：70名＞(先着順)

※此花区健康ぴちぴちランドβ(血管年齢測定会)を開催します(13:30～13:55、15:30～16:00)！

場所：**クレオ大阪西3階多目的室**（此花区西九条6-1-20）

＜血管年齢測定＞



対象：一般の方、町会・民生委員児童委員の方、専門職の方

挨拶：此花区医師会長 板東博志 先生（板東医院院長）

司会進行：田中忠徳(此花区医師会顧問)

案内：①「社会的フレイル」を予防するには **此花区保健福祉センター**

②此花区健康ぴちぴちランドって、何？ **此花区医師会**

③オレンジチームって、何？ **このはなオレンジチーム**

ピアノ伴奏：松井恵子 先生（シンガーソングライター、薬剤師）

申込先：一般社団法人 **此花区医師会**（此花区在宅医療・介護連携相談支援室）

TEL 06-6462-0572 FAX 06-6462-3262



< 申込書 >

令和7年度此花区民健康講座

「認知症予防のための歌声喫茶3」

< 日時 >

日時 令和7年5月30日(金)14:00～15:30

場所 クレオ大阪西 3階 多目的室（大阪市此花区西九条6-1-20）

< 申込内容 >

・ふりがな

・お 名 前

・携帯番号または電話番号 （ ） —

・お住いの地域

・西九条 ・四貫島 ・梅香 ・春日出 ・伝法 ・高見 ・恩貴島 ・西島 ・島屋
・上記以外や他区の方 （ ）

・今回の歌声喫茶の曲目は、昭和、平成の歌謡曲などが中心になる予定ですが、特に、歌いたい歌謡曲などがありましたら、曲名と歌手をお書き下さい。

但し、全体の構成等により、希望が叶えられないことがありますので、予めご了承下さい。

※ご記入頂いた個人情報は、本講座の運営に関する以外には使用いたしません。

※上記をご記入の上、此花区医師会あてFAX(06-6462-3262)下さい。また、電話(06-6462-0572)でもお申し込みができます。複数名の同時申し込みもいけます。

申込先 ▶ 此花区医師会

FAX 06-6462-3262

電話 06-6462-0572

第4回

街の相談室

此花区健康ぴちぴちランド^{アルファ}α

～ 血圧・握力・酸素飽和度・血管年齢を測います！～



主催 此花区健康ぴちぴちランド



健康のこと、介護のこと、生活のこと、将来のこと、法律のこと…、何か**相談**事はありませんか？地域の専門家（看護師、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士、行政書士等）が、皆さんの**相談**にお応（答）えします。

心臓や脳の病気は、「血管」が関わっています。あなたの血管は、**ぴちぴち**ですか？「**血圧**」は大丈夫ですか？体、弱っていませんか？また、「**握力**」の低下は、フレイル（筋力や活力が虚弱）の原因にもなります。一度、色々測って貰いませんか？そこから、健康のことが見えてくるかもしれません。

※本ランドは、専門職の集い（多職種連携）の場でもあります。興味のある専門職の方は、一度のぞきにきて下さい。相談員としての参加も歓迎です！

日 時： **6月26日(木) 14:30～16:00** (予定)

場 所： **此花区民一休ホール第1会議室** 四貫島1-1-18

相 談 員： 看護師、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士、行政書士

相談費用： **無 料**

測 定 員： 看護師、保健師

※相談・測定の予約も受け付けます。下記まで電話下さい。



此花区役所、此花区訪問看護ステーション連絡会、此花区医師会、
此花区薬剤師会、大阪暁明館病院、此花区地域包括支援センター、
此花区南西部地域包括支援センター・このはなオレンジチーム、
此花区居宅介護支援事業者連絡会、春日出地域総合相談窓口、
此花区社会福祉協議会

<本ランド加盟団体>

ご予約・お問合せ：一般社団法人此花区医師会（此花区在宅医療・介護連携相談支援室）
電話 06-6462-0572 FAX 06-6462-3262

此花区「健康ぴちぴちランド通信」 第1号

令和6(2024)年12月 発行: 此花区在宅医療・介護連携相談支援室(此花区医師会・6462-0572)

＜はじめに＞: 「此花区健康ぴちぴちランド」 ⇒ 街の相談室＋集いの場

本ランドは、健康や介護のことなどの相談の「場所」(ランド)で、広く区民の健康増進と生活維持・向上に寄与することを目指します。また、その意思決定を支援する「場所」(ランド)でもあります(ACPの実践)。加えて、専門職が相談員となって集い、ある時は懇談をし、ある時は情報共有をし、そして、他職種を理解する「場所」(ランド)ともなります。その上で、今後色々な企画を織り交ぜて、本ランドを開催していきたいと思います。余裕をもって、「ゆるり」と行きましょう！

なお、 α は拠点場所(定位置)開催、 β は出張開催となります。

＜相談内容＞: 健康(食生活・運動・喫煙・飲酒・血圧・メンタル・認知症)、介護、法務(後見・相続・遺言)など

対象は原則此花区民・此花区内在勤者などで、地区の限定はありません。また、相談は無料で、予約(此花区医師会:6462-0572)も受け付けます。

＜開催＞: 2回開催しました！

①第1回「此花区健康ぴちぴちランド β 」開催: 10月30日(水)午後1時30分～、於・クレオ大阪西
此花区民健康講座「認知症予防のための歌声喫茶2」の前後に、血管年齢測定会として実施しました。参加58名、うち被測定者52名、スタッフ6名でした。

②第2回「此花区健康ぴちぴちランド α 」開催: 11月28日(木)午後2時30分～、於・一休ホール
相談会に血管年齢測定会を併設して実施しました。今回、多くの専門職がスタッフ(相談員)として参集し、連携のための個別の懇談や情報交換が各々ありました。参加55名、うち被測定者・相談者32名、スタッフ23名でした。また、血圧・酸素飽和度の測定もありました。なお、スタッフのうち12名が血管年齢の測定をして貰いました。当日の様子は下記の通りです。



※「此花女性レクリエーションクラブ」
の皆さんが大勢来て下さいました。

＜打合せ会＞: 令和7年1月22日(水)午後2時30分～、於・此花区役所3階講堂A

在宅医療・介護連携推進会議実務者打合せ会の後、同じ場所で開催します。本格実施となる次年度以降の基本方針や概要等を、関係者一同で協議したいと存じます。

※本通信は、振り返りと連絡用に、関係者一同あて不定期に発行します。

此花区「健康ぴちぴちランド通信」 第2号

令和7(2025)年1月

発行：此花区在宅医療・介護連携相談支援室(此花区医師会・6462-0572)

＜役割＞：「此花区健康ぴちぴちランド」は、街の相談室でもあり、集いの場でもあります！

本ランドは、多職種の集い(連携)の場でもあり、他職種理解の場でもあります。また、イベント開催の場でもあります。今回は、知っているようで知らない「保健師」さんを知って貰う機会を設けました。第1回・第2回の本ランドでは、血管年齢測定で大活躍してくれました。この2回での被測定者は80名を超えました。

保健師さんは、地域毎に担当の方がおられます。下記の通りです。

＜保健師さんを知る＞：

此花区 地域の担当保健師です！！



西島・四賀島担当



佐法・桜島担当



高見担当



島屋担当



統括保健師



梅島・忍島担当



西九条・春日担当



地域保健活動
担当係長

此花区は、保健師9名で活動しています。(地域担当制です)

9名の保健師で地域や個人の健康を維持増進するため活動しています。

具体的には、健康相談、健康教育、予防接種の推進、乳幼児健診、家庭訪問(母子、難病、高齢者等)、特定健診・がん検診受診勧奨、感染症の予防・対応などを行っています。また、地域の健康課題を把握し、それに基づき健康づくりの計画を立て実践しています。他に、地域福祉を担当している保健師が3名います。

(令和6年度はスーパーでの血管年齢測定を実施しました。)



精神保健福祉相談員
担当係長

＜第1回此花区健康ぴちぴちランド打合せ会(連絡会)＞：1月22日(水)に開催しました。

在宅医療・介護連携推進会議実務者打合せ会の後、開催し、次年度の活動内容(相談会・イベントの企画)などを検討しました。

※本通信は、振り返りと連絡用に、関係者一同あて不定期に発行します。

此花区「健康ぴちぴちランド通信」第3号

令和7(2025)年3月

発行：此花区在宅医療・介護連携相談支援室(此花区医師会・6462-0572)

◎「此花区健康ぴちぴちランド」の役割 ⇒ 街の相談室(所)+集いの場

本ランドは、健康や介護のことなどの相談の「場所」(ランド)で、広く区民の健康増進と生活維持・向上に寄与することを目指します。また、専門職が相談員となって集い、ある時は懇談をし、ある時は情報共有をし、そして、他職種を理解する「場所」(ランド)ともなります。即ち、多職種連携とACPを進めていく「場所」(ランド)でもあります。

◎「此花区健康ぴちぴちランド」相談内容 ⇒ 健康(食生活・運動・喫煙・飲酒・血圧・メンタル・認知症)、介護(サービス内容、施設紹介)、法務(後見・相続・遺言)など

対象は原則此花区民・区内在勤者の方です。相談は無料で、予約(此花区医師会：6462-0572)も受け付けます。

<連絡>：此花区社会福祉協議会が本ランドに加盟しました！

生活支援体制整備事業はじめ色々な所での連携推進を目指します。

<案内>：「此花区健康ぴちぴちランド」の開催について！！

○「多職種連携研修会・交流会 ～保健師さんを囲む会」(イベント1)開催：



4月24日(木)午後2時～3時10分、於・此花区役所3階講堂ABC

保健師さんの役割や活動を知る専門職の交流会です。

今回初めての試みとなります。(対面のみ)



此花区居宅介護支援事業者連絡会とのジョイント開催となります。

○第3回「此花区健康ぴちぴちランドβ」(血管年齢測定会)開催：5月30日(金)、於・クレオ大阪西3階「認知症予防のための歌声喫茶3」(午後2時～3時30分)の前後に開催します。歌声喫茶では、昭和・平成の歌謡曲を皆で歌います(専門職の方の参加もOKです)。

○第4回「此花区健康ぴちぴちランドα」開催：6月26日(木)午後2時30分～4時、於・此花区民一休ホール第1会議室 区民さんのための街の相談室(所)を開設し、希望者には、血圧・握力・酸素飽和度・血管年齢を測定します。併せて、集い(多職種連携)の場でもありますので、専門職の方は覗きにきて下さい。情報交換をしましょう！

<今後の企画等>

◎今後、多職種連携の輪を更に広げていきたいと思っています。その上で、今秋には、「多職種連携研修会・交流会」のイベント2の開催を企画しています。

<第2回連絡会>：3月13日(木)に開催しました(於・此花区役所3階講堂A)。

在宅医療・介護連携推進会議実務者打合せ会の後、同じ場所で開催し、次年度の活動内容等を、関係者一同で確認しました。次回は、標記打合せ会の後、開催予定です。

※本通信は、振り返りと連絡用に、関係者一同あて不定期に発行します。

令和 6 年度保健師活動領域調査（領域調査）結果の概況

【調査の概要】

1 調査の目的

近年の少子高齢化、地域住民のニーズの多様化に対応するため、保健・医療・福祉・介護の連携が図られているところ、保健師の活動領域の実態を的確に把握することにより、今後の保健師活動に関する様々な施策を検討・実施するための基礎データとすることを目的として実施するものです。

なお、本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく一般統計調査として平成 21 年度から実施しています。

2 調査の時期

毎年 5 月 1 日時点（今年度は令和 6 年 5 月 1 日時点、一部項目は令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

なお、保健師活動領域調査は領域調査（毎年実施）と活動調査（3 年毎実施）からなり、令和 6 年度は領域調査のみを実施しています。

3 調査対象

自治体（47 都道府県、1,741 市区町村）に所属する全ての保健師

4 調査項目

自治体における保健師の人数、所属等



報道関係者 各位

令和 6 年 9 月 30 日

【照会先】

健康・生活衛生局健康課保健指導室

室長補佐 尾川 春香

主査 下鶴 幸宏

(担当・内線)

領域調査担当 (内線2336、2394)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2190

令和 6 年度「保健師活動領域調査（領域調査）」の結果を公表します

厚生労働省では、この度、自治体に勤務する保健師の活動領域の実態を把握するため、自治体に所属する全ての保健師を対象とする令和 6 年度「保健師活動領域調査（領域調査）」を実施し、その結果を取りまとめたので公表します。

なお、本調査は、今後の保健師活動に関する施策の基礎データとすることを目的として実施しています。

【調査結果のポイント】

○自治体別常勤保健師数（別添表 1）

常勤保健師数の合計は前年度より 677 人増加し 39,205 人であり、このうち都道府県の保健師は前年度より 103 人増加し 5,898 人（全国総数の 15.0%）、市区町村の保健師は前年度より 574 人増加し 33,307 人（同 85.0%）となっている。

○所属部門別常勤保健師数（別添表 2）

都道府県では、本庁に 1,017 人（都道府県総数の 17.2%）、保健所に 4,308 人（同 73.0%）が所属している。

市区町村では、本庁に 11,724 人（市区町村総数の 35.2%）、保健所に 3,922 人（同 11.8%）、市町村保健センターに 11,209 人（同 33.7%）が所属している。

○常勤保健師の退職者数・採用者数（別添表 3、4）

退職者数は、都道府県では前年度より 69 人減少し 369 人（全退職者数の 16.1%）、市区町村では前年度より 282 人減少し 1,562 人（同 83.9%）となってる。

採用者数は、都道府県では前年度より 142 人減少し 492 人（全採用者数の 18.2%）、市区町村では前年度より 146 人減少し 2,214 人（同 81.8%）となっている。

○統括保健師を配置している自治体数及び所属区分別統括保健師数（別添表 5、6）

統括保健師は、都道府県では 47 自治体全てに、市区町村では 1,196 自治体（全市区町村の 68.7%）において配置されている。

統括保健師の所属区分は、本庁が 611 人（全統括保健師の 49.2%）、保健所が 57 人（同 4.6%）、市町村保健センターが 415 人（同 33.4%）、その他が 160 人（同 12.9%）となっている。

詳細は別添「令和 6 年度保健師活動領域調査（領域調査）結果の概況」を御覧ください。

大阪市職員（保健師） 勤務案内



保健師発祥の地で
新たな一歩を

大阪市保健師は、令和元年度に策定した
「大阪市保健師の活動の方向性」を活動の指針として、
大阪市民の笑顔輝く健康なまちづくりのため、
仲間とともに、活き活きと活動に取り組んでいます！

めざす職員像

社会環境の変化に対応し、職員としての役割を果たすためには、職員一人ひとりが主体的に考え行動し、能力を高め続けていくことが重要です。

めざす職員像

自ら学び考え行動する『自律した職員』

◆自律した職員とは

- ・担当業務において、課題設定、目標設定をする
- ・職員としての役割をふまえ、何をすべきか考え行動する
- ・どんな職員になりたいのかイメージする
- ・自分の強み、弱みを理解し、自己啓発を行う

めざす保健師像

大阪市は、保健師発祥の地です！地区担当制を基本としながら、270万市民の健康課題と向き合った保健活動を進めています。

めざす保健師像

行政保健師として、健康なまちづくりを推進し、
地域に責任を持つ自覚と力量を備えた保健師

大阪市の保健師業務の魅力

魅力① 政令指定都市だからこそ幅広い活動ができる

大阪시는、保健所 1 か所と 24 行政区にそれぞれ保健福祉センターを設置し、保健衛生行政を総合的に展開できる体制となっています。

ジョブローテーションにより、健康づくりや母子保健など地域住民に身近な対人保健サービスから、難病・公害対策、感染症の蔓延防止といった健康危機管理対応まで、幅広く様々な仕事を経験することが可能です。

魅力② 地域の人と共に考え、共に活動できる

大阪市保健師は「**地区担当制**」を中心に活動しています。

地域全体の健康課題を把握して、地域住民が「健康」に生活できるよう責任を持って保健師活動をできるところが魅力です。

地域の担当保健師として相談を受け、地域の健康課題を踏まえて事業等を企画し、住民と一緒に健康づくりに取り組んでいます。

魅力③ 充実した研修

個別支援や地域診断など、日頃の保健活動に必要な基本的技術や知識・技術を獲得するために様々な内容の研修を行っています。

個人のスキルに応じて、個別支援や地域診断、事業化や施策化などの力量形成を図り、母子・成人・高齢・精神・感染症などの事業課別の研修も行い、保健師としての専門性を高める環境が整っています。

職場内研修（OJT）を基本として、研修を行うことで、着実なキャリアアップが図れます。

保健師研修が充実！

人材育成の体制が整っています



1～5年目（新任期）

6年目以上（中堅期）

管理職（管理期）

大阪市保健師人材育成ガイドライン

OJT

新任期保健師人材育成マニュアル 中堅期保健師人材育成マニュアル 管理期保健師の役割に関するガイドライン

新採用研修 1・3年目研修 中堅期研修 管理期研修

Off-JT

業務別研修：事業課（母子・成人・高齢・精神・感染症・難病等）による研修

派遣研修：国立保健医療科学院などへの派遣研修

配属先と主な業務

勤務場所は、24の行政区、市役所（本庁）、保健所、こころの健康センターなど様々です。

大阪市の保健師は、福祉部門、産業保健部門など保健部門以外の広い分野でその能力が求められています。

区役所 保健福祉 センター (24区)	保健 個人や地域全体の健康の保持増進及び 疾病の予防を図るための家庭訪問・健 康教育・健康相談等	健康局	健康推進部 保健師業務の連絡調整・人材育成
	福祉 地域包括支援センターとの協働等		保健所 感染症・結核・難病・公害保健等
	子育て支援室 18歳までのこどものことや子育て全 般に関する相談対応等		こころの健康センター 精神保健福祉相談・自殺防止対策等
福祉局	生活福祉部 障がい者・高齢者虐待防止関係業務	こども 青少年局	子育て支援部 母子保健等
	高齢者施策部 認知症高齢者支援・介護予防事業等		こども相談センター 児童虐待への対応等
	弘済院 利用者の相談・患者支援等	総務局	人事部 職員の健康・安全衛生管理
		教育委員会 事務局	教務部 教職員の健康・安全衛生管理



保健福祉センターのお仕事紹介

家庭訪問



家庭や施設等生活する場へ出向き、地域住民（母子・成人・高齢等）に対して、必要な支援を行います。

健康相談



本人や家族等から、生活習慣病や認知症・精神疾患など、健康に関する幅広い相談を受けています。

健康教育



対象者が抱える健康課題に応じたアプローチを行い、行動変容を促せるように取り組んでいます。

子育て教室



地域の中で安心して子育てができるように、教室を開催し、計測や育児相談を受けています。

百歳体操



宮本興隆株式会社と「百歳体操DVD」を共同で制作しました！

高齢者の方がいきいきと元気に暮らせるように、地域住民と一緒に、介護予防に取り組んでいます。

乳幼児健診



3か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を集団健診で実施しています。

区の独自事業



地域診断に基づいて地域の特性を把握し、区の健康課題に応じた事業を企画立案して展開しています。

関係機関との連携



関係機関と意見交換を行い、地域の課題を共有し、地域住民の健康のために一緒に活動しています。

健康危機管理対応



災害時の健康危機管理ができるよう、マニュアルを策定し、平時から災害対策に取り組んでいます。また感染症の集団発生などへの対応も行っています。

先輩からのメッセージ



江川 呼幸
西淀川区保健福祉センター
(令和5年度採用)

区保健福祉センターでは、新生児から高齢者まで地域住民の健康づくりのための個別支援や乳幼児健診、百歳体操、各種教室の企画・運営を行っています。大阪市は地域担当制で、様々な業務に携わります。初めは分からないことも多いですが、業務ごとの研修が充実しており、

さらにプリセプターや先輩が親身に相談に乗ってくださるので、安心して働くことができます。地域の方との関わりは毎日新しい発見があり、大阪市保健師ならではの経験を積むことができます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

1日のスケジュール（例）

9:00	始業（朝礼、メールチェック、準備等）
10:00	乳幼児健診準備
10:30	フレイル予防のための家庭訪問
11:30	帰庁、訪問記録作成
12:15	昼休み
13:00	乳幼児健診待機
17:00	乳幼児健診事後作業（資料整理等）
17:30	終業



鎗内 隼
健康局保健所
感染症対策課
(令和2年度採用)

感染症対策課結核グループに所属しており、結核罹患率の低下に向けての対策を行っています。また、疫学調査や接触者健診等の他にもデータ分析も行っており、保健師としてのスキルアップができます。保健師は男性が少ないこともあり、不安なことがあるかもしれません。

でも気負わなくて大丈夫です。困ったときは周りの方と相談しながら進めていくことが出来ます。ぜひ一緒に働きませんか。困ったときはいつでも相談にのりますよ！

1日のスケジュール（例）

9:00	始業（メールチェック、各種事務作業）
10:00	結核対策への課内会議出席
12:15	昼休み
13:00	集団接触者健診への仕事
15:00	会社や施設等への疫学調査
17:30	終業



大森 祐美
鶴見区保健福祉センター
(平成27年度採用)

健康危機管理担当として、災害への備えに取り組んでいます。災害時円滑に支援を行い、地域住民が健康を損なわずに過ごせるような、災害に強いまちづくりのために働けることにやりがいを感じています。定期的に研修があり、担当者間の意見交換もできるため、スキルアップしながら安心して働くことができます。

私自身2人の子育て中ですが、サポート体制が整っており、職場全体で協力し合う団気のとても働きやすい職場です。ぜひ一緒に働きましょう。

1日のスケジュール（例）

9:00	始業（朝礼、メールチェック）
10:00	健康相談対応
12:15	昼休み
13:00	防災担当との情報交換
14:00	養病者さん宅訪問 体調確認、災害時の個別避難計画作成
16:00	帰庁、記録作成
17:30	終業

小川 理乙子 此花区役所 保健副主幹



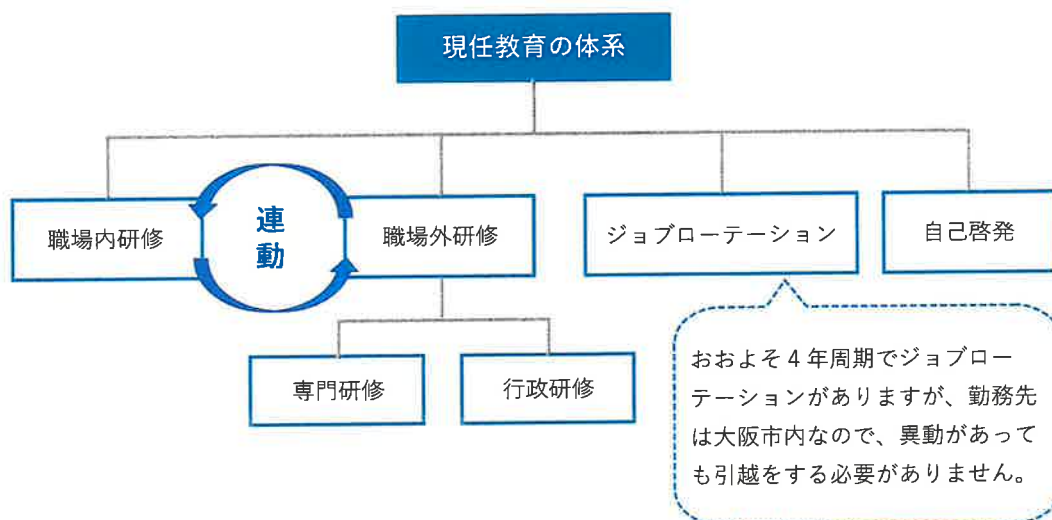
区の統括保健師として、保健師8名と地域活動を行っています。

チーム一丸となって、人と人、人とサービスをつなぎ、人や地域によりそい、共に歩むことで、健康課題解決に向け取り組んでいます。また、「笑顔が輝く健康なまちづくり」をめざして、保健師活動の見える化、事業化等も行っています。様々な活動で目まぐるしい毎日ですが、チームで課題を共有し、ともに悩み、お互いを助け合いながら課題を解決していけるような組織づくりに努めています。

先輩保健師からの学びはもちろん、ケースや地域の方、多職種の方から学ぶことも多くあり、焦らず一歩ずつ積極的に学びつづけることが大切です。いつでも相談しやすく居心地のよい安心できる職場づくりで、みなさんをサポートしていきます。

大阪市保健師の人材育成

大阪市では、大阪市保健師人材育成ガイドラインを作成し、体系的な人材育成を実施しています。専門職としての保健師の人材育成は、職場内でのOJT（職場内研修）・Off-JT（職場外研修）・ジョブローテーション（人事異動・人事交流）によって行われます。さらに、大阪市保健指導研究会を自主組織として運営し、勉強会や研究活動など自己啓発を図る仕組みがあります。



OJTを効果的に行うため、業務上の困りごとや悩みを上司や先輩保健師に気軽に相談できる職場環境を整え、より良い雰囲気づくりに努めています。

事例検討会

事例への対応について、情報を整理・意見交換を行い、悩みを共有し、対象者へのよりよい支援を考えています。必要に応じて、精神保健福祉相談員や他職種（医師や心理士など）にアドバイザーとして参画を求めることもできます。



プリセプター体制

大阪市保健師は「プリセプター体制」を導入しています。身近な先輩がプリセプター（指導者）として採用3年目までの新任期保健師とペアを組んでいます。日常業務を通して、保健師の専門能力の育成だけでなく、行政能力の育成に向けた指導を行っています。

新任期保健師 育成支援事業

新人保健師の知識と保健指導技術を高めるため、経験豊富な退職保健師が家庭訪問等の保健活動に同行し、やさしく丁寧な指導・助言を行っています。

統括保健師からのメッセージ



大阪市健康局
保健指導担当部長
青木 理恵（保健師）

大阪市は昭和3年に我が国で初めて「保健婦」という名称が使われた地であり、政令指定都市でありながら、長年高い水準の保健師教育を行ってきました。現在、大阪市の保健師は491名を定数としており、24区の区役所、大阪市保健所、大阪市こころの健康センター、児童相談所、大阪市役所内の各部局等で「大阪市民の笑顔が輝く健康なまちづくり」をめざして活動しています。

大阪市の保健師活動の魅力は、地区担当制を基盤として、あらゆる健康課題に対応し、地域特性に応じた事業の企画・立案などが行えることにあります。また、地域住民に寄り添い、地域住民とともに活動することでソーシャル・キャピタルを醸成し、地域ケアシステムを構築していくといった、保健師らしい仕事をすることができます。

また、2019年度に作成した「大阪市人材育成ガイドライン」に基づいた体系的な研修やOJTを行っており、自己研鑽の場として83年の歴史を持つ「大阪市保健指導研究会」を組織していることも強みとなっています。

保健師は、本当に楽しい、やりがいのある仕事です。志ある皆さまと共に、活動できることを心から楽しみにしております。

✖ 高層ビルが立ち並ぶ大都会の特徴と
下町の人情味が色濃く残る地域もあり、
外国、特にアジアの文化も共存する
国際都市大阪で、あなたの力を輝かせてみませんか

【保健師採用試験に関する問い合わせ先】
大阪市健康局総務部総務課
〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20
電話番号 06-6208-9922



令和7年4月吉日

関係各位

此花区在宅医療・介護連携相談支援室(田中)

<連絡先>

電話:06-6462-0572

FAX:06-6462-3262

メール:zuka8793@yahoo.co.jp

対人職対象・ACPの一つである「もしバナゲーム」を体験する

ビッグ版でやる第7回もしバナゲーム研究会の開催について(ご案内)

謹啓 春霖の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、標記研究会を、下記の通り開催いたしたいと存じますので、ご案内いたします。今回、カードサイズがほぼ倍になった「ビッグ版」でゲームを行います。参加ご希望の方は、上記までお申し出下さい。

なお、「もしバナゲーム」は4名定員で行いますので、参加申込みの後のドタキャンはご遠慮下さい。都合が悪くなりましたら、速やかに連絡して下さい。謹白

記

<日時> 5月8日(木)午前10時～ <約70分>

<場所> 此花会館4階 此花区医師会事務室(西九条5-4-24)

<内容> ACPとは、「もしバナゲーム」の実施・ディスカッション・総評など

○主宰:田中忠徳(公認もしバナ・マイスター、行政書士)

<定員> 4名(1テーブル) × 2 = 8名

<ビッグ版>



←通常版のほぼ倍です。

意思決定支援の具体的実践に向けたプロローグ

意思代弁

「もしバナゲーム」のもしバナとは、「もしものための話し合い」で、「人生の最期にどうありたいか」を、ゲームを通じて、自身の願いを伝え、理解してもらうきっかけにするゲームです。

この将来の人生の疑似体験は、重要な経験につながってきます。

また、このゲームは、専門職だけで行った場合、他職種の方の考えや動向を理解することにも役立ちます(他職種理解)。他職種理解は、多職種連携の基本です。そして、受援力も養います(支援者にも受援力は必要です)。



もしバナゲームのカード内容

あなたの望むこと！！

番号	内容	番号	内容
1	痛みがない	19	私を一人の人間として理解してくれる医師がいる
2	不安がない	20	親友が近くにいる
3	呼吸が苦しくない	21	人生の最期を一人で過ごさない
4	清潔さが維持されている	22	私の思いを聴いてくれる人がいる
5	人との温かいつながりがある	23	主治医を信頼する ←(旧)信頼できる主治医がいる
6	お金の問題を整理しておく	※	
7	家族が私の死を覚悟している	24	穏やかな気持ちにさせてくれる看護師がいる
8	家で最期を迎える	25	意識がはっきりしている
9	自分の身体がどう変わっていくかを知る	26	あらかじめ葬儀の準備をしておく
10	いい人生だったと思える	27	家族の負担にならない
11	大切な人とお別れをする	28	誰かの役に立つ
12	自分の人生を振り返る	29	神が共にいて平安である
13	家族や友人とやり残したことを片付ける	30	祈る
14	自分が何を望むのか家族と確認することで口論を避ける	31	機器につながれていない ※
15	私の価値観や優先順位を知る代弁者がある ※	32	怖いと思うことについて話せる
16	私が望む形で治療やケアをしてもらえる	33	宗教家やチャプレンと会って話せる ※
17	尊厳が保たれる	34	死生観について話せる
18	ユーモアを持続ける	35	家族と一緒に過ごす

※上記15：(旧)意思決定支援者一代弁者

※上記31：機器とは、人工呼吸器、人工栄養チューブ、点滴、心電図モニター等

※上記33チャプレン：教会に属さず、施設や病院等で働く聖職者(牧師、神父など)のことです。



MEMO

(問合せ先) **此花区医師会** (此花区在宅医療・介護連携相談支援室)

〒554-0012 大阪市此花区西九条5-4-24 此花会館4階

TEL 06-6462-0572

FAX 06-6462-3262